

選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



香川 雄介 (香川/76期)

去年はよくやれたほうじゃないですか。競輪祭でも決勝に乗れて最後のGP争いまで行けたし。寒い時期のほうがいいし、調子も悪くはない気がする。普通に頑張るとしか言えないけど、もう何回も地元記念を走るチャンスはないと思うので1回1回真剣に走りたい。今回も数少ないチャンスはあるのかなと思っています。



池田 憲昭 (香川/90期)

(今年初戦の岸和田⑧⑤⑤着は)状態は悪くなかったけど、ギアとかセッティングを換えて、それがかみ合わなかったですね。小倉(竜二)さんに言われて、元に戻しました。(地元記念は)普段と変わらずにやるだけ。(和歌山記念を優勝したが)おごることなく、次は次と思っています。出るからには獲りたい。

小川 丈太 (徳島/111期)

年頭の小松島でいきなり優出し、和歌山記念では敗者戦3連勝と早くもS級で存在感を発揮している。高松はA級で完全Vもしている走り慣れたバンク。今回は勝ちあがり戦での活躍に期待だ。



不破 将登 (岐阜/94期)

10月四日市の準優勝から手ごたえをつかんだ感じ。11月岐阜では地元でうれしいS級初優勝も飾っている。その後も12月久留米、1月宇都宮で準Vと好調を維持。今の調子なら記念初の準決勝、決勝も狙える。



片岡 迪之 (岡山/93期)

前期A級で7Vを挙げた勢いそのままにS級復帰初戦の武雄では2⑤②着とヒットを飛ばした。切れ味鋭いまくりはS級でも十分通用するし、仕掛けがはまれば上位相手でも一発ありそう。

S級ブロックセブン

2/3 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

坂本周作には、朝倉佳弘、副島和人で続くか。12月伊東記念で3勝など動き軽快な坂本の主導権で、差し脚切れている朝倉の連対は十分ありうる。

取鳥雄吾―大塚健一郎の西ライオンが本線となる。本命に推す大塚は、2月地元の全日本選抜に向けて脚を上げていっている段階。12月久留米の初日特選で競りでも番手にこだわったほど評価している取鳥と一緒に、何も考えることはない。きっちり差し切つてのワンツーで、次の全日本選抜に弾みを付ける。取鳥もまだ復調途上とするものの、ここでは機動力上位の存在だし、1月和歌山記念を見ても戦える状態にあるのは明白。好機にスパートを決められれば、力強く踏み直して押し切ろう。

大塚健一郎が ビシッと決める



大塚 健一郎